

岐阜市で見つかったアカボシゴマダラ *Hestina assimilis assimilis*
(チョウ目, タテハチョウ科) について

説田健一

Record of *Hestina assimilis assimilis* (Lepidoptera, Nymphalidae)
from Gifu city, Gifu Prefecture, Japan.

SETSUDA Ken-ichi

要旨 2024年9月25日に岐阜県岐阜市清本町6丁目で外来亜種アカボシゴマダラ *Hestina assimilis assimilis* (Linnaeus)が拾得された。岐阜県内では、これまで、東濃地方を中心に確認されていたが、岐阜市内で標本が得られたので、外来亜種アカボシゴマダラは岐阜県南部に分布を広く拡大した可能性がある。

はじめに

アカボシゴマダラ *Hestina assimilis* (Linnaeus)はベトナム北部から中国南部及び東部、朝鮮半島、および済州島、台湾、日本の奄美諸島に分布する。奄美諸島に分布するのは、亜種 *H.a. shirakii* Shirozu であるが(白水, 2006)、1998年に神奈川県藤沢市で中国大陸の外来亜種 *H.a. assimilis* (Linnaeus)が発見され、現在までに、関東地方を中心に、北海道から関西地方まで、広範に確認されている(中村ら, 2003, 2005; 岩野, 2005; 堀, 2009; 間野・岩本, 2011; 林, 2013; 渡邊, 2013; 榎並, 2015; 栗岩ら, 2015; 松井・星, 2021; 坂本ら, 2022)。これらは、意図的に放蝶されたものに由来し、幼虫期にエノキを利用するゴマダラチョウやオオムラサキなどの在来のチョウ類との競合が懸念されるため、2018年に特定外来生物に指定されている(松井・星, 2021)。岐阜県では、松井・星(2021)



図1. 岐阜市で拾得されたアカボシゴマダラ
Hestina assimilis assimilis (GPM-Z-43838)

が2020年に東濃地方で初めて確認し、その後、土岐市(2022年9月8日)や瑞浪市(2024年5月30日)などで、本種が撮影されている(環境省生物多様性センター、いきものログ:岐阜聖徳学園大学教育学部川上研究室、進化する昆虫図鑑)。このたび、当館では、岐阜市で拾得された外来亜種アカボシゴマダラの寄贈を受けた。これまでに本種の岐阜県における標本記録は公表されていないので報告する。

標本の記載と考察

標本の記載(図1)

登録番号 GPM-Z-43838

拾得日 2024年9月25日

拾得場所 岐阜県岐阜市清本町6丁目

拾得者 中村優太・健人

拾得状況 本標本は、寄贈者が通学路で拾得した個体で、触覚や脚が外れ、胴体や翅が乾燥し硬直していた。

同定 後翅の赤色斑紋列の中央部の斑紋の赤色がやや薄く、また斑紋が不完全もしくはU字であるため、本標本は外来亜種アカボシゴマダラである(環境省、特定外来生物同定マニュアル昆虫編)。

考察

外来亜種アカボシゴマダラは、県内では、これまでに、東濃地方を中心に記録があり(松井・星, 2021; 環境省生物多様性センター、いきものログ:岐阜聖徳学園大学教育

学部川上研究室，進化する昆虫図鑑），未公表だが，恵那市で採集されている（中島，私信）。今回，岐阜市で標本が得られたことで，本種が東濃地方から岐阜市にかけての岐阜県南部に広く分布を拡大した可能性がある。

謝辞

本稿を執筆するにあたり，資料を寄贈いただいた中村優太・健人氏，及び県内のアカボシゴマダラの分布状況についてご教示いただいた岐阜県昆虫分布研究会の舩越進太郎氏と中島和典氏にお礼申し上げます。

文献

- 榎並晃，2015，アカボシゴマダラを麒麟山で採集，越佐昆虫同好会報 **113** : 50-51.
- 環境省生物多様性センター，いきものログ，
<http://ikilog.biodic.go.jp/> 2023年11月27日確認.
- 環境省，特定外来生物同定マニュアル昆虫編，
https://www.env.go.jp/nature/intro/2outline/manual/6hp_konchurui2.pdf/ (2023年11月27日).
- 岐阜聖徳学園大学教育学部川上研究室，進化する昆虫図鑑，
<http://chigaku.ed.gifu-u.ac.jp/chigakuhp/html/kyo/seibutsu/doubutsu/500KonchuTop/index.html/>
(2023年11月27日).
- 堀繁久，2009，札幌市内の公園で撮影されたアカボシゴマダラ，*Jezoensis* **35** : 47.
- 林秀信，2013，アカボシゴマダラを伊豆諸島・大島で採集，月刊むし **503** : 42.
- 間野隆裕・岩本やよい，2011，遂に名古屋市で確認されたアカボシゴマダラ，佳香蝶 **63** (248) : 89.
- 岩野秀俊，2005，神奈川県におけるアカボシゴマダラの分布拡大の過程，昆虫と自然 **40** (4) : 6-8.
- 栗岩竜雄・大塚孝一・堀田昌伸，2015，長野県軽井沢町における外来生物アカボシゴマダラ(タテハチョウ科)の生息確認，長野県環境保全研究所研究報告 **11** : 37-40.
- 国立研究開発法人国立環境研究所，侵入生物データベース，<https://www.nies.go.jp/biodiversity/invasive/DB/detail/70250.html>，(2023年11月28日).
- 松井安俊・星光流，2021，外来アカボシゴマダラの拡散・定着と在来ゴマダラチョウへの影響，昆虫と自然 **56** : 10-13.
- 中村進一・菅井忠雄・岸一弘，2003，神奈川県におけるアカボシゴマダラの発生，月刊むし **384** : 38-41.
- 中村進一・菅井忠雄・岸一弘，2005，神奈川県におけるアカボシゴマダラの発生(2)，月刊むし **409** : 26-32.
- 坂本貴海・樫村朗穂・香取郁夫，2022，アカボシゴマダラの近畿大学奈良キャンパスおよび生駒山における記録，近畿大学農学部紀要 **55** : 25-31.
- 白水隆，2006，日本産蝶類標準図鑑，学習研究社，東京，336p.
- 渡邊永悠，2013，京都府におけるアカボシゴマダラの記録，月刊むし **503** : 42.